

日本スケート連盟 医事委員会アンチ・ドーピング部会 アウトリーチプログラム報告書

対象競技会：2022-2023 全日本ノービススピードスケート競技会

対応者

日本スケート連盟医事委員会 アンチ・ドーピング部会

三宮恵利子・鈴木 靖

2023年2月11日～12日

苫小牧ハイランドスポーツセンター屋外リンク 参加選手 70名

配布物 使用可能薬リスト200部 クリーンアスリートガイドブック200部

【2月11日】 当日配布数 クリーンアスリートガイドブック110部、使用可能薬リスト137部

8時40分 ハイランドスポーツセンター屋外リンク1階入口付近にブースを設置

8時50分 業務開始

9時00分 競技開始

選手にアンチ・ドーピングの説明とガイドブック及び使用可能薬リストの配布

13時45分 競技終了

14時30分 競技者が施設を退室後に業務終了

(説明)

- ・ 使用可能リストはスマホ等にデータとして持参することを推奨
- ・ JADA GlobalDRO の使用方法
- ・ サプリメントについて

(質問)

Q ドーピング検査は小学生も対象となっているのか。

A 現時点では対象外であるが、薬の使用について注意する意識を持つことが大切と説明



【2月12日】 当日配布数 クリーンアスリートガイドブック 40部、使用可能薬リスト 62部

- 8時30分 業務開始
- 9時00分 競技開始(天候不良のため、スケジュールの変更があり、男女別の公式練習を同一時間にするなど、午後からの荒天を予想し全体スケジュールが短縮された)
- 11時00分 競技終了
- 11時30分 業務終了

(説明)

- ・ 使用可能リストはスマホ等にデータとして持参することを推奨
- ・ JADA Global DRO の使用方法
- ・ サプリメントについて



感想

今回はノービス大会ということで、ドーピングという言葉も聞いたことがない選手がほとんどであった。特に、4年生は説明しても理解が得られない状況でしたが、「薬を使って勝つことはダメ」という最低限の理解は得られた。6年生は、4月から中学生という事もあり、関心度も高く、熱心に話を聞いてくれました。今回のターゲットは選手より保護者を力を入れましたが、控室等でチーム毎に話を聞いていただいた場面もあり、実際にGlobalDROの使い方や、使用可能薬リストのダウンロードなど積極的に試みる保護者もあり、関心度の高さを感じた。

今回も選手の所属チームの監督等の協力により、ほぼ全員に資料を配布することができ感謝します。また、ブースの運営にあたり、大会実行委員会の協力で、競技アナウンサーが何度もブースの設置をアナウンスしていただいたり、設営についても大変お世話になり感謝しております。